

明德女子連年3位 男子は8強止まり

卓球
全国中学選抜

卓球の全国中学選抜大会最終日は27日、愛媛県武道館で団体戦の1位トーナメントを行い、女子の明德義塾が昨年に続き3位に入った。男子明德は8強止まりだった。男子の優勝は愛工大名電(愛知)、女子は貝塚二

(大阪)が制した。前日のグループ戦で1位となった16チームがトーナメントを争い、準々決勝までは3ゲームマッチ、準決勝以降は5ゲームマッチで戦った。女子明德は1回戦で和洋国府台女(千葉)に、準々決勝は明豊(大分)に、準決勝は山陽学園(岡山)に0-3で敗れた。男子明德は1回戦で崎辺(長崎)に3-0で勝利。準々決勝は浜松修学舎(静岡)に1-3で敗れ、連年の準決勝進出はならなかった。

▽男子1位グループトーナメント1回戦

明 徳 3-0 崎 崎 邊	内 山 2-0 瀬 尾	齋 藤 2-0 吉 賀	伊 藤 2-0 金 城
伊 藤 2-0 金 城	伊 藤 2-0 金 城	伊 藤 2-0 金 城	伊 藤 2-0 金 城

▽準々決勝

中 西 2-1 明 徳	村 田 1-2 伊 藤	建 部 2-0 齋 藤	秋 月 2-0 古 谷
岡 田 2-0 古 谷	岡 田 2-0 古 谷	岡 田 2-0 古 谷	岡 田 2-0 古 谷

▽決勝

愛 知 3-0 山 陽 学 園	愛 知 3-0 山 陽 学 園
-----------------	-----------------

▽女子1位グループトーナメント1回戦

明 徳 3-0 和 洋 国 府	明 徳 3-0 和 洋 国 府
明 徳 3-0 和 洋 国 府	明 徳 3-0 和 洋 国 府

▽準々決勝

青 野 2-0 阿 部 未	石 井 2-0 阿 部 未
石 井 2-0 阿 部 未	石 井 2-0 阿 部 未

▽決勝

貝 塚 二 3-1 山 陽 学 園	貝 塚 二 3-1 山 陽 学 園
-------------------	-------------------

収穫と反省
○：明德男子は準々決勝で浜松修学舎(静岡)に敗れて8強止まり。佐藤建剛監督は「1年生が2人いる若いチーム。8強は頑張った」と健闘をたたえた。チームのもくろみは、「ポイントゲッターの

斎藤、立藤の2人のほかにもう1点(佐藤監督)が取らなければ」と力強いプレーを随所に見せた主将の斎藤以外は勝てなかった。

「勝ちにくい姿勢をもつと見せない」と斎藤。さらに鍛え、夏の全中に向け成長を誓った。(吉川博之)

明德女子 大会で自信培う

明德女子は連年の4強進出。準決勝で昨年と同じく山陽学園(岡山)に屈したものの、準々決勝までは1試合も落とさない戦いを披露し、自信を培う大会になった。この大会、前日のリーグ戦と準々決勝までは3ゲーム制で行われ、1ゲーム落とすと後がなくなる緊迫感の中、対戦が進んだ。明德も案に勝ち進んだわけではない。シングルスはエースで主将の渡辺を第2単に固定し、それ以外は竹本や立川を順番に起用。その竹本と立川はゲームを落とし、要所をしのぎ、流れは渡辺さん。続く渡辺がしっかり勝つた後、青野・石井の複も危ない戦いで勝利を積み重ねた。青野と石井は新チームから組み始めたペア。それでも「雰囲気を感じ上げられる戦い」ができたようにも感じた。絶妙のコンビネーションでカウターを決め、チームに勢いを付けた。ただ、準決勝は1試合も奪えず、ストレート負け。エースの渡辺は第1ゲームで8-6とリードしながら逆転を喫し、青野と石井も競り合いながら、大事なポイントを取れない。ペアが「もうちょよつと、踏ん張れたら」と反省すれば、渡辺も「戦術に迷いが出た」と唇をかんだ。佐藤利香監督は「勝つためにも、もぎ取れる点を奪えなかつた。甘さが出た」と敗因を分析する。一方で勝利にこだわらなければ、一年一年、大人になってくればいい。選手はまだ中学生。明德の卓球道場で鍛える時間はたっぷりある。(吉川博之)



【女子準々決勝 明德一明豊】ダブルスでストレート勝ちした明德の石井=左=と青野のペア(愛媛県武道館)